

平成25年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

【別紙1】

平成25年4月18日

水見市地域公共交通会議・構成員

富山県、水見市、加越能バス株式会社、公益社団法人富山県バス協会、平和交通株式会社、富山県交通運輸産業労働組合協議会、富山県高岡土木センター水見土木事務所、富山県水見警察署、北陸信越運輸局富山運輸支局、水見市自治振興委員連合会、水見市社会福祉協議会

※事業対象：協議会で評価した実績(H24.10.1～H25.1.7、H25.1.19～H25.3.31 運行日数171日)

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
記載要領	<p>【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】</p> <p>※評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること</p>	<p>【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】</p>	<p>【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】</p> <p>A・B・C評価</p> <p>記載例①: 計画どおり事業は適切に実施された。</p> <p>記載例②: 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。</p>	<p>【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】</p> <p>A・B・C評価</p> <p>記載例①(確保維持事業): 目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載)</p> <p>記載例②(改善事業): 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】</p> <p>※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載</p>
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	<p>事業者名:加越能バス(株)</p> <p>運行系統名:ひみ番屋街経由水見市民病院</p>	<p>JR水見駅～ひみ番屋街～水見市民病院</p>	<p>A 計画どおり事業は適正に実施されている。</p>	<p>A</p> <p>1. 目標数値 1便当たりの利用者数は、平日は2.0人、土曜日・日曜日・祝日は4.2人を目標とし、系統別の年間利用者数については、①ひみ番屋街経由水見市民病院が4,300人、②ひみ番屋街が6,000人、③市街地循環は3,200人、当該バス路線による年間利用者数13,500人を目標とする。 (平成25年3月16日にJR水見線のダイヤが大幅に改正になったことから、運行ダイヤを見直し、JR水見線との円滑な接続を図った。また、運行後3ヶ月間の乗降調査を踏まえ、運行経路を延伸して新たな1系統を追加し、利用者の利便性の向上を図った。 見直しに当たっては、去る2月15日に開催した本協議会で25年度生活交通ネットワーク計画の変更の同意を得て、3月1日付けで計画変更の認定申請を行ったところである。)</p> <p>2. 結果と効果 今年度約6ヶ月間の実績からすると、1便当たりの利用者数は、平日は3.7人、土曜日・日曜日・祝日は6.1人、系統別の利用者数は、①ひみ番屋街経由水見市民病院が5,699人、②ひみ番屋街が4,434人となっており、1便当たりの利用者数及び系統別の年間利用者数の目標数値に達する見込みである。また、③市街地循環においても約半月で354人となっており、こちらも目標数値に達する見込みである。 効果としては、新規設置したバス停留所からの乗降もあり、市街地周辺の高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段の確保につながっている。</p>	<p>1. 今後の改善点 今後ともさらに多くの市民の方に利用していただけるよう、広報誌やインターネット等を通じて広く周知を図るとともに、引き続き乗降調査を実施し、利用者からの声も併せて本計画に反映していく。</p> <p>2. 今後の目標 現状では年間利用者数の目標を達成できる見込みだが、利用者数が目標数値を大幅に上回っているのは、24年10月にオープンした「ひみ番屋街」への来場者効果があると考えられること、実績数値も約半年分と少ないため今後の利用者数が掴みにくいことから、次年度の目標値は据え置きとする。 事業内容については、今後とも利用状況の調査を行い、その数値等を基に必要な改善を講じることで、高齢者等の移動手段の確保が必要な方が、さらに利用しやすいバス路線となるべく努めていきたい。</p>
	<p>事業者名:加越能バス(株)</p> <p>運行系統名:ひみ番屋街</p>	<p>JR水見駅～ひみ番屋街</p>	<p>A 計画どおり事業は適正に実施されている。</p>		
	<p>事業社名:加越能バス(株)</p> <p>運行系統名:市街地循環</p>	<p>水見市民病院～JR水見駅～水見市民病院</p>	<p>A 計画どおり事業は適正に実施されている。</p>		

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。